

連載

- 10 世界のキーパーソン
11 国内人情情報
27 Book Reviewing Globe
40 テイレシアスの食卓―河井健司
42 大往生考
51 西風
58 新危機管理のノウハウ
59 交差点・読者の声・編集者の声



政府は成長戦略だといひ、自治体も積極的に誘致。日本は世界でも稀にみるお人好しの国だ。電力と水の膨大な消費や大量の排熱が立地先を苦しめる。挙げ句、利益は海外企業が収奪。末路は「デジタル植民地」だ。(110頁)

- 80 金融の世紀―黒木亮
88 皇室の風―岩井克己
90 日本の科学アラカルト
92 新・大学評判記
94 本に遇う―河谷史夫
96 をんな千一夜―石井妙子
114 マスコミ業界ばなし

110 データセンター——今世紀最大の「迷惑施設」

- 60 FRBウォーシユ議長が呼ぶ嵐——米金融市場を抱えた「面倒な人」
- 62 金融庁「ザル検査」は治らない
- 組織再編に悪徳金融機関が高笑い
- 64 「トヨタ史」から消された奥田碩
- 豊田家の冷酷と章男の「忘恩」
- 67 連載「クロージング」太田裕雄（キオクシアホールディングス社長）——突如「スター」経営者の明と暗
- 68 イオンモール「爆発」の深層
- この「人災」は誰の責任か
- 72 官民ファンド「J-C」の厚顔無恥
- 利益相反丸出しの「東電デイル」
- 74 経済●情報カブセル
- 78 連載「地方金融の研究」稚内信用金庫——資本支援「注入」でも続く窮状
- 82 ミビツグテックに腰抜けの「公取委」——不法を放置「茶会榮治」の小心
- 84 ラピダス「キーマン喪失」で漂う暗雲——「2ナノ量産」は実現するのか
- 86 老衰する「フオルクスワーゲン」——日本自動車産業の暗い未来像



ガス遮断弁は作動した。ならば、ガスはどこから漏れ、何で着火したのか。配管の設計と施工、保安管理の責任は免れない。地域住民の金銭で潤う大商業施設が、有事に恩をアダで返す。信用失墜は全国に及ぶ。(68頁)

- 
- 刃向かう者は議員も官僚も許さず。徹底的に人事で冷遇。それが党内外の離反を招き、抗争の火種となる。「外交の季節」到来でも関心は皆無。内向きの権力闘争で頭が一杯のようで、日本の沈降が止まらない。(48頁)
- 44 政治●情報カブセル
- 46 高市「外交敗北」の夏
- 正体晒した自称「保守政治家」
- 48 高市の稚拙な「恐怖政治」
- 9月「肅清人事」が招く自滅
- 52 連載「政界スキャン」淋しき「官邸の女王」こころの叫び
- 54 「食品消費税」ずつと1%でもいい
- 社会保障「破綻回避」で二策あり
- 56 沖縄知事選「天接戦」の舞台裏——自民候補の命運握る「創価学会」



内向かう者は議員も官僚も許さず。徹底的に人事で冷遇。それが党内外の離反を招き、抗争の火種となる。「外交の季節」到来でも関心は皆無。内向きの権力闘争で頭が一杯のようで、日本の沈降が止まらない。(48頁)

6 気候変動と「紛争リスク」

異常気象を「武器化」する時代

- 12 **国連事務総長選で米中露の暗闘**
 ■大国の「操り人形」探しが難航中
- 14 **スペイン「移民騒動」の深刻余波**——進む欧州分断と域外勢力の干渉
- 16 **ドイツで深刻「キリスト教離れ」**——教会減少が「極右伸長」の要因に
- 18 **WORLD ●情報カプセル**
- 22 **エストニア「ロシア軍侵攻」の悪夢**——NATO最前線で高まる緊張
- 24 **中国が先手打つ「2つの海峡危機」**
 ■台湾有事を見据えた「物流戦略」
- 28 **「嫌ウクライナ」に傾くポーランド**——東欧を切り裂く「ロシア情報工作」
- 30 **中東諸国「絶望」のイスラエル選挙**
 ■ Netanyahu 退陣でも戦争は続く
- 32 **フランス原潜「日本購入」の可能性**——高市政権を探る「密使」が来日
- 34 **中国の「属国」と化すロシア**
 ■「プーチン」北方領土上陸の实情
- 36 **「親日都市」天連の落日**——高市シヨックで細る「人材と投資」
- 38 **連載「現代史の言霊」9月の脅迫**——米国・炭疽菌テロ事件(2001年)



熱波、干ばつ、渇水が紛争を誘発し、戦闘の深刻化がさらに環境へ負荷をかける「悪循環」。水や食料と直結する気候変動は、無法者国家にとって魅力的な武器と化したのだ。戦争の非人道性は新たな段階に入った。(6頁)